

平成 27 年度 裾野市市民意識調査 速報

平成 27 年 11 月 13 日

裾野市の将来都市像である「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現に向けた各種施策を進めるとともに、「第 4 次裾野市総合計画後期基本計画」及び「裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の基礎資料とするため、平成 27 年度裾野市市民意識調査を実施しました。速報がまとまりましたので報告します。

■ 調査の概要

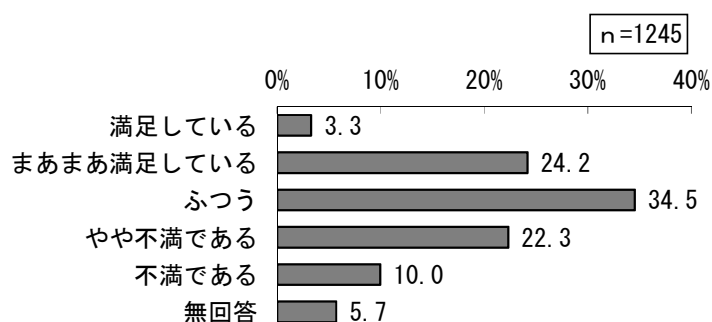
対象者	市内にお住まいの 20 歳以上の方 3,000 名（無作為抽出）
実施方法	郵送配付・回収
有効回答数	1,245 票（41.5%）
調査期間	平成 27 年 7 月 18 日～7 月 31 日

■ 調査結果

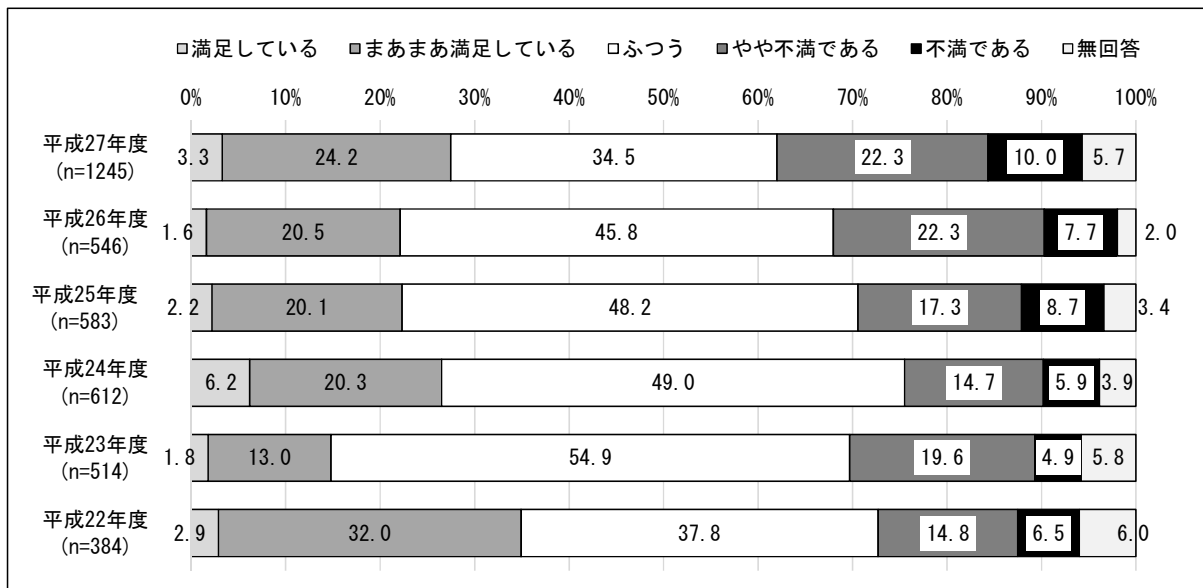
市政について

問 裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。

- 裾野市の施策全体の満足度は、「ふつう」34.5%が最も多く、次いで「まあまあ満足している」24.2%、「やや不満である」22.3%と続く。



- 経年比較でみると、「まあまあ満足している」が概ね 20%台、「やや不満である」が 10～20%台で推移しており、大きな変化はみられない。
- 「不満である」は 10%以下と依然少ないが、平成 23 年度から少しずつ増えている。



- ライフステージ別で見ると全体結果と同様に概ね「ふつう」が最も多いが、家族成長前期（第一子が小・中学生）は「まあまあ満足している」が最も多く、家族成熟期（第一子が学校教育終了）は「やや不満である」が最も多い。
- 満足派（満足している＋まあまあ満足している）と不満派（不満である＋やや不満である）で見ると、独身期、家族形成期、家族成長前期、高齢期では満足派が不満派をやや上回り、家族成長後期、家族成熟期、その他では不満派が満足派をやや上回る。

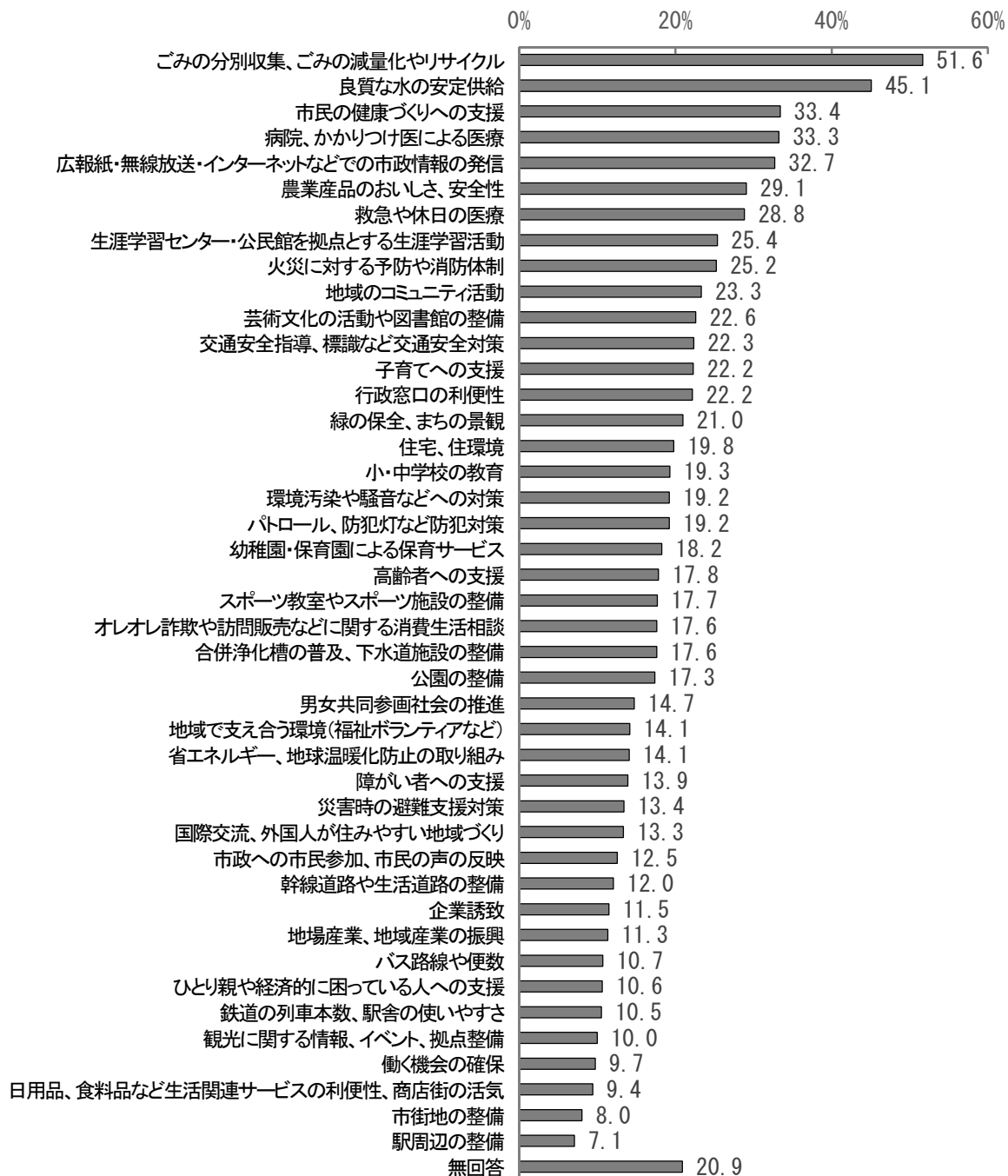
上段：人数（人） 下段：割合（%） 網掛け：各項目の第1位	合計	満足している	まあまあ満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体	1245	41	301	430	278	124	71
	100.0	3.3	24.2	34.5	22.3	10.0	5.7
独身期	57	6	10	28	6	5	2
	100.0	10.5	17.5	49.1	10.5	8.8	3.5
家族形成期	104	1	34	37	20	7	5
	100.0	1.0	32.7	35.6	19.2	6.7	4.8
家族成長前期	136	7	47	35	31	11	5
	100.0	5.1	34.6	25.7	22.8	8.1	3.7
家族成長後期	122	2	33	38	30	11	8
	100.0	1.6	27.0	31.1	24.6	9.0	6.6
家族成熟期	179	5	28	53	57	23	13
	100.0	2.8	15.6	29.6	31.8	12.8	7.3
高齢期	153	8	42	55	29	12	7
	100.0	5.2	27.5	35.9	19.0	7.8	4.6
その他	494	12	107	184	105	55	31
	100.0	2.4	21.7	37.2	21.3	11.1	6.3

問 市の行政について、「満足している公共サービス」あるいは「今後、充実すべきだと思う公共サービス」はそれぞれ何ですか。

【満足しているサービス】

○ 満足しているサービスは、「ごみの分別収集、ごみの減量化やリサイクル」51.6が最も多く、次いで「良質な水の安定供給」45.1%、市民の健康づくりへの支援」33.4%と続く。

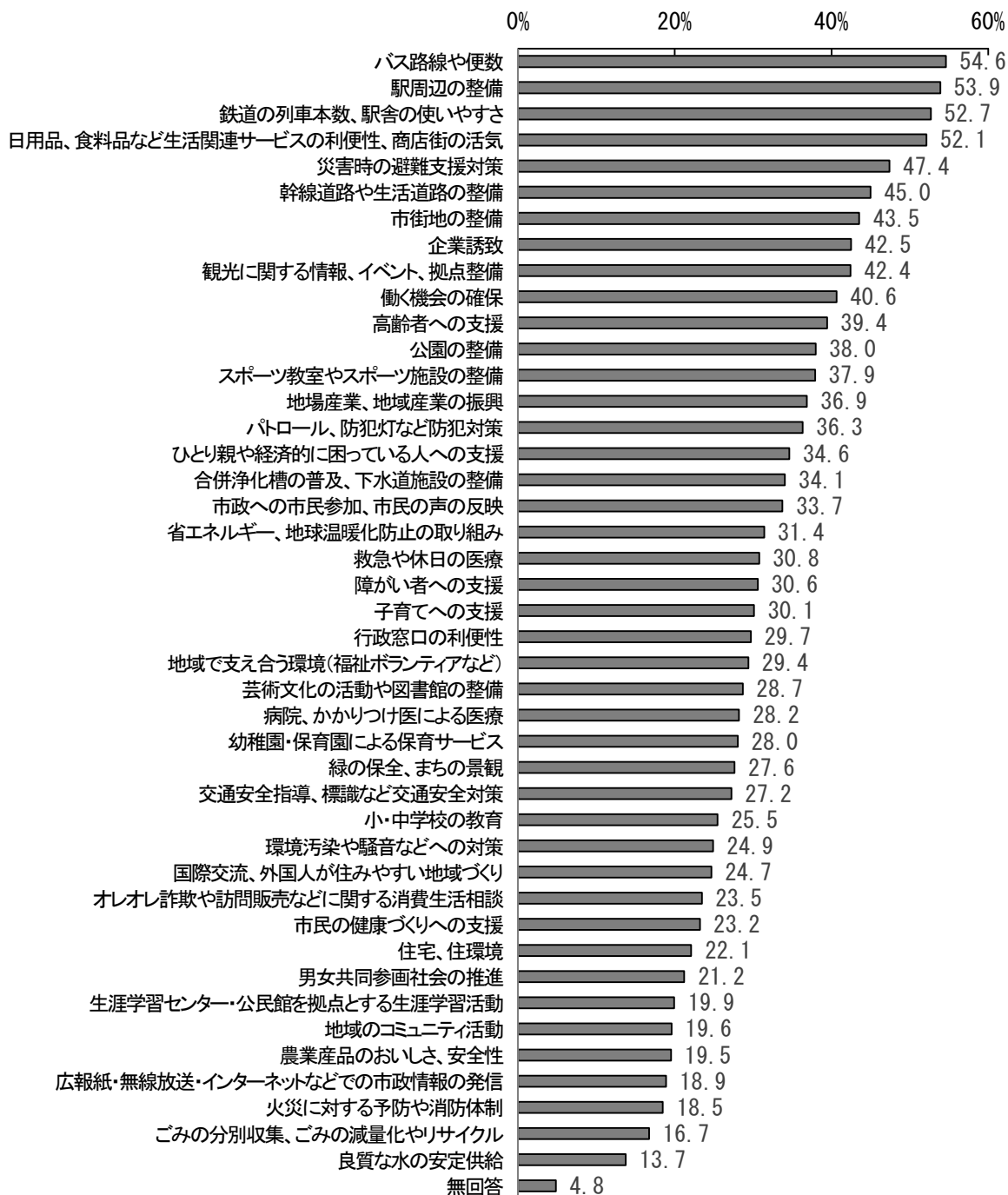
n=1245



【充実すべきサービス】

- 充実すべきサービスは、「バス路線や便数」54.6%が最も多く、次いで「駅周辺の整備」53.9%、「鉄道の列車本数、駅舎の使いやすさ」52.7%と続く。

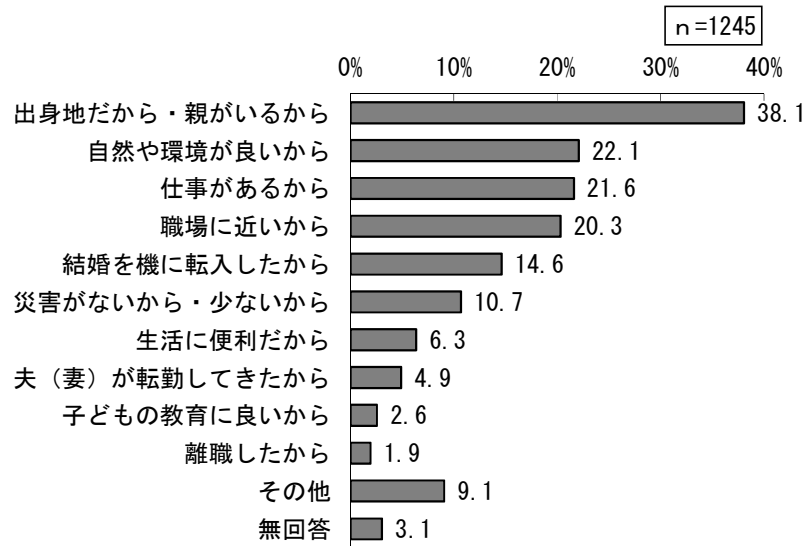
n=1245



裾野市での暮らしについて

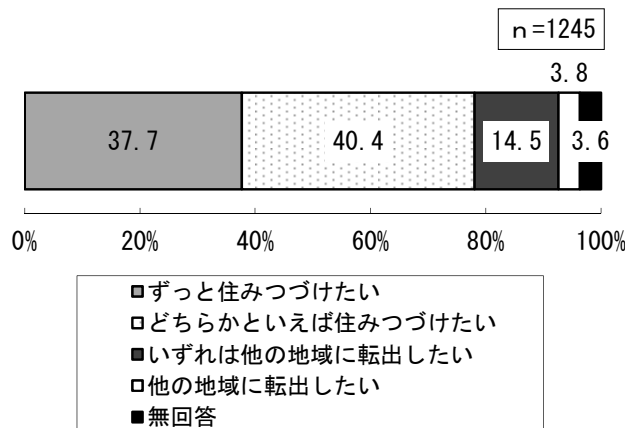
問 あなたが裾野市で暮らしている最も大きな理由はなんですか

- 裾野市で暮らしている最も大きな理由は、「出身地だから・親がいるから」38.1%が最も多く、次いで「自然や環境が良いから」22.1%、「仕事があるから」21.6%、「職場に近いから」20.3%と続く。



問 あなたは、これからも裾野市に住みつづけたいと思いますか。

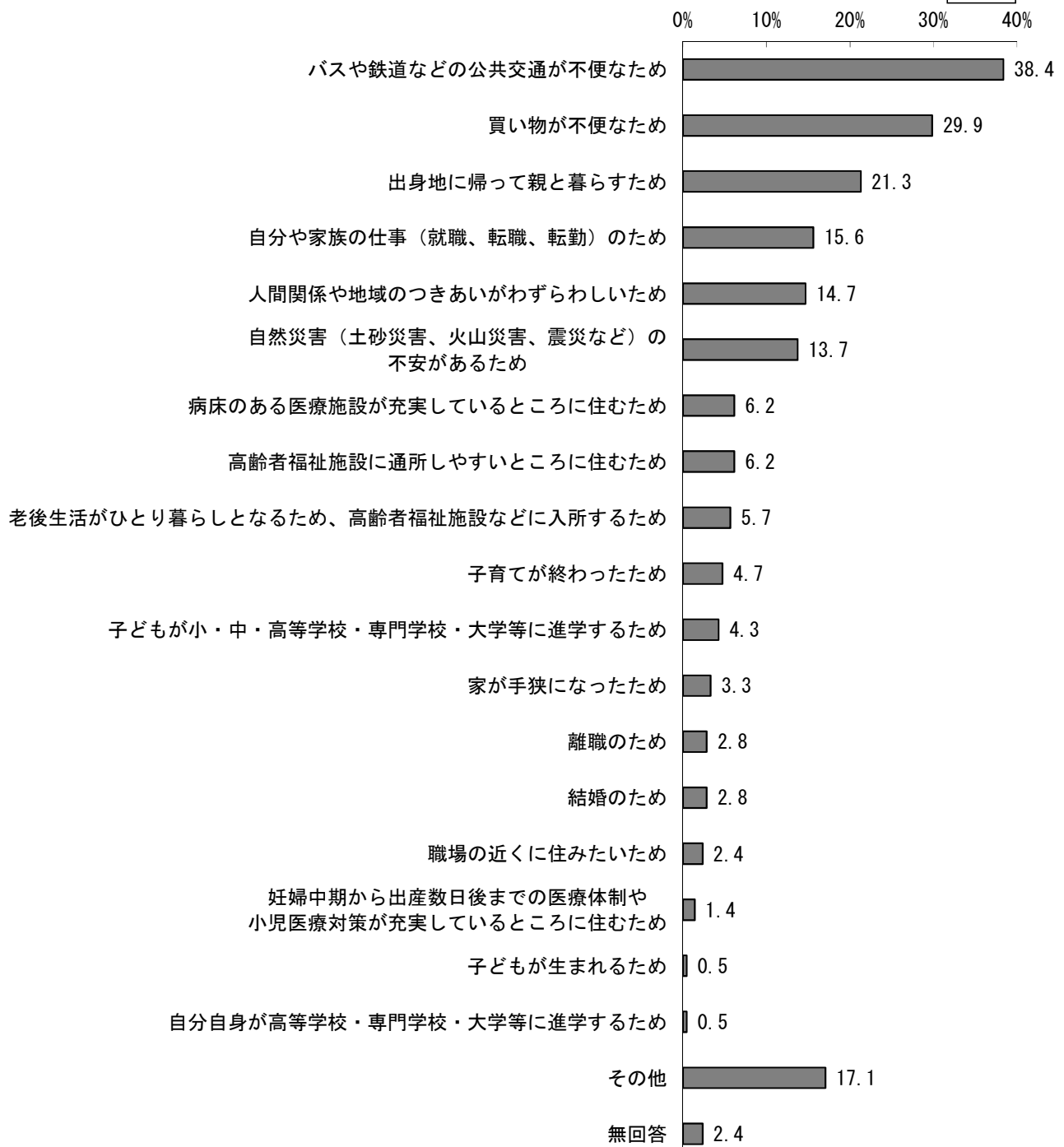
- これからも裾野市に住み続けたいかは、「どちらかといえば住みつづけたい」40.4%が最も多く、次いで「ずっと住みつづけたい」37.7%、「いずれかは他の地域に転出したい」14.5%と続く。



前問で「3~4 (転出希望)」に○をつけた方の主な理由は何ですか。

- 転出したい理由は「バスや鉄道などの公共交通が不便なため」38.4%が最も多く、次いで「買い物に不便なため」29.9%、「出身地に帰って親と暮らすため」21.3%と続く。

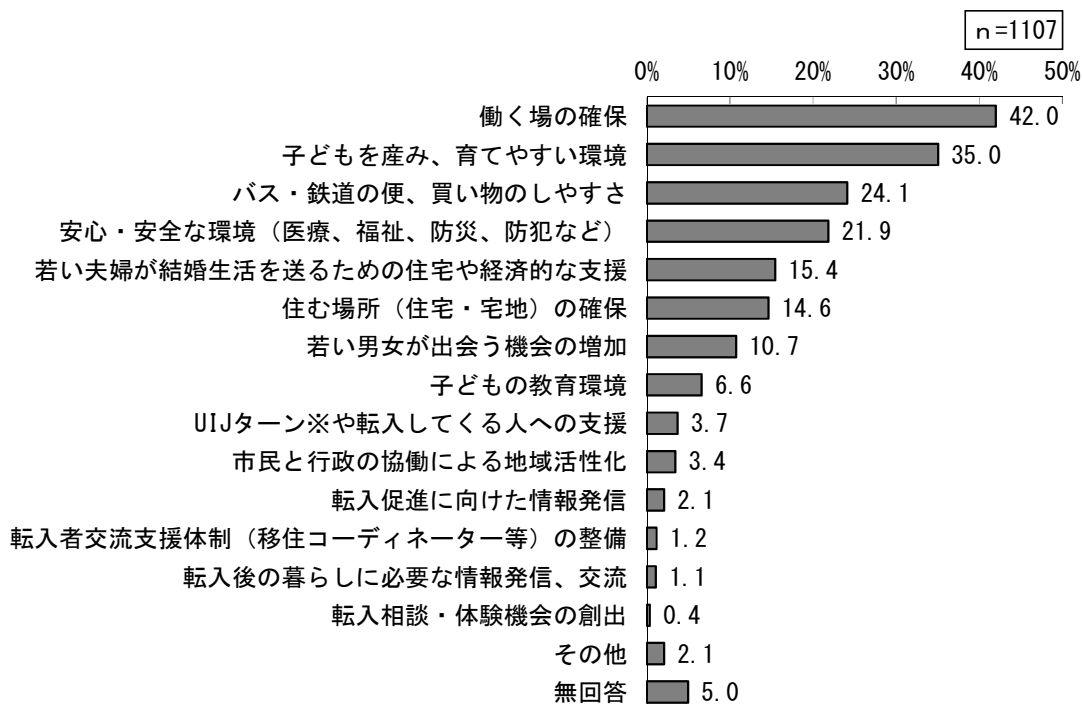
n=211



注：指定数以上の回答をした票を除いて集計

問 市の人口増加に向けて重要な取り組みは何だと思えますか。

- 市の人口増加に向けて重要だと思える取り組みは、「働く場の確保」42.0%が最も多く、次いで「子どもを産み、育てやすい環境」35.0%、「バス・鉄道の便、買い物のしやすさ」24.1%と続く。



注：指定数以上の回答をした票を除いて集計

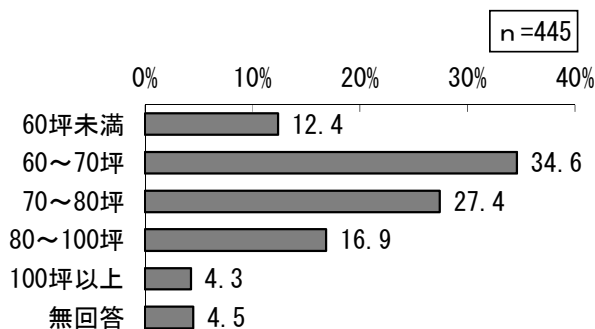
※ Uターンは地方から都会に移住し、生まれ故郷の地方に戻る。Iターンは生まれ故郷とは別の地方へ移住すること。Jターンは地方から都会に移住し、生まれ故郷に近い地方に戻る。

家族の希望モデル実現に向けて

昨年度、市が実施した調査では、市民の皆さんが希望する子どもの人数の平均は、2.55 人でした。そこで、父・母・子ども 3 人の構成を「家族の希望モデル」と仮定し、その実現に向けた質問をしました。

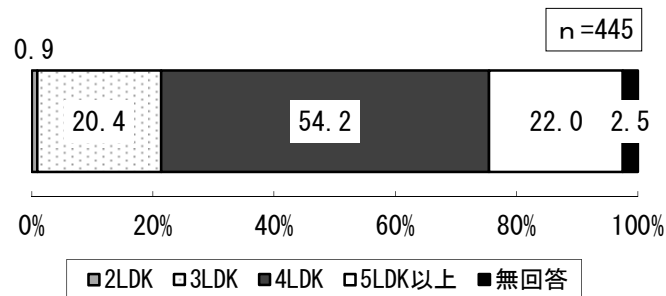
問 「家族の希望モデル（お父さん、お母さん、子ども 3 人）」を実現する場合、宅地（敷地）の広さはどのくらいを希望しますか。

○ 「家族の希望モデル」の実現のために、希望する必要な宅地の広さは、「60～70 坪」34.6%が最も多く、次いで「70～80 坪」27.4%、「80～100 坪」16.9%と続く。



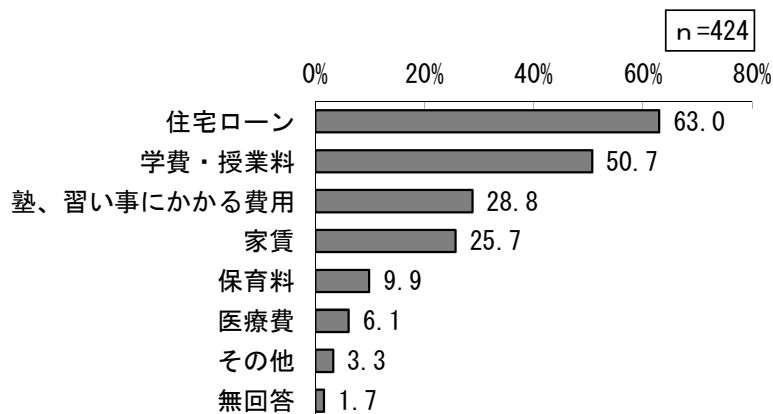
問 「家族の希望モデル（お父さん、お母さん、子ども3人）」を実現する場合、住居の広さはどのくらいを希望しますか。

- 「家族の希望モデル」の実現のために、希望する住居の広さは、「4LDK」54.2%が最も多く、次いで「5LDK以上」22.0%、「3LDK」20.4%と続く。



問 「家族の希望モデル（お父さん、お母さん、子ども3人）」を実現する場合、経済的に負担を感じることは何ですか（何だと思えますか）。

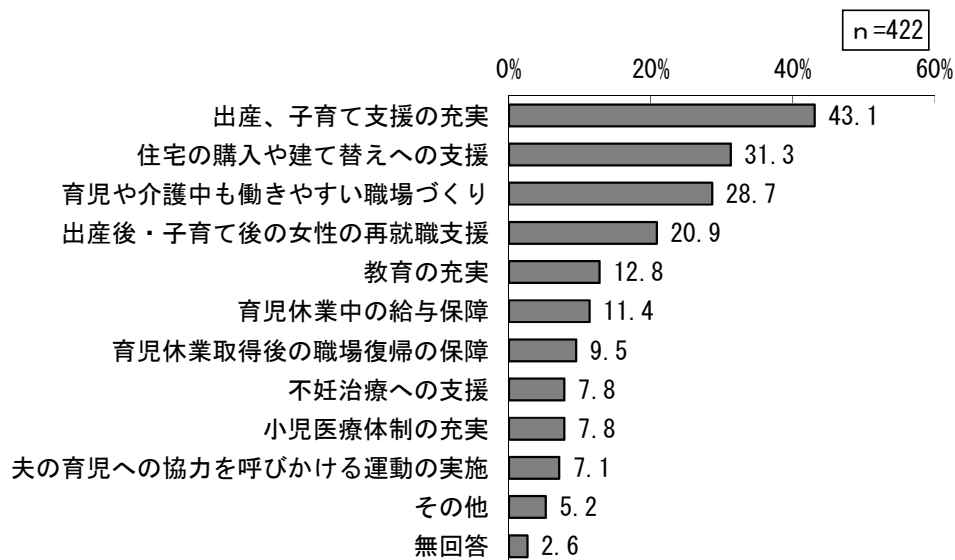
- 「家族の希望モデル」を実現する場合、経済的に負担を感じると思うことは、「住宅ローン」63.0%が最も多く、次いで「学費・授業料」50.7%、「塾、習い事にかかる費用」28.8%、「家賃」25.7%と続く。



注：指定数以上の回答をした票を除いて集計

問 「家族の希望モデル（お父さん、お母さん、子ども3人）」を実現するために何が必要だと思えますか。

- 「家族の希望モデル」の実現のために必要だと思えることは、「出産、子育て支援の充実」43.1%、「住宅の購入や建て替えへの支援」31.3%、「育児や介護中も働きやすい職場づくり」28.7%と続く。



注：指定数以上の回答をした票を除いて集計

■ 調査結果について

- 今回調査では、次の項目についても調査を実施しています。
 ≪健康管理について／住宅用火災警報器の設置について／スマートフォン（スマホ）を活用した新しいサービスについて／子育て環境について≫
 これら内容を含めた調査報告書は、12月ごろ公表予定です。
- 調査結果は、市役所3階企画政策課、1階情報公開コーナー、各市所、鈴木図書館、市公式ウェブサイトでご覧いただけます。
- 今回の調査では、定住や子育て環境に関する意識をお聞きしました。市では、調査結果などを踏まえ、「裾野市人口ビジョン」「裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定しました。また、各種施策の推進に役立てていきます。

(参考)

市公式ウェブサイト「統計情報」

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/ma/si/>

市公式ウェブサイト「裾野市まち・ひと・しごと創生の取組み」

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/ma/creation/>

本件のお問い合わせ

裾野市企画部企画政策課 市役所3階 電話：055-995-1804 Fax：055-995-1861

電子メール：kikaku@city.susono.shizuoka.jp